

2020.7.16 (木)
第3回例会
(通算 3597 回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「Together! 次世代へ共に築こうロータリー！」

第84代会長 舟木 博
副会長 土橋 賢一
幹事 荒井 剛
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2020-2021 年度
国際ロータリーテーマ



ロータリーは機会を築く
2020-2021 年度
RI 会長 ホルガー・クナーク
第 2500 地区ガバナー
松田 英郎 (富良野 RC)

月間テーマ

本日のプログラム 写真から語る釧路の今昔物語 (担当: プログラム委員会)

次週例会 納涼ビアパーティー (舟木丸船出式) (担当: 親睦活動委員会)

- ロータリーソング: 「我等の生業」 ■ ソングリーダー: 武久 晋治君
- 会員数 97 名
- ビジター なし
- ゲスト 釧路市社会福祉協議会 土井 英昭会長

会長の時間

舟木 博会長



皆さん、改めて
こんにちは。お食
事の方はどうぞそ
のままお続けくだ
さい。本日の会長
の時間は、私の後
半のライフワーク

になった四国巡礼の話をさせていただきます。題名は「お遍路とロータリーについて」です。

きっかけは 12 年前、最愛の女房に先立たれ、その供養のために始まりました。現在、距離にして 3,000 km、約四国 3 周を歩いております。四国を歩いて気がついたことは、各地のロータリークラブが社会奉仕の一環として、歩き遍路の人々の接待、休憩小屋の建設、お寺の文化財の保存整備等の奉仕活動を実に積極的に行っていることです。

また、四国各県のガバナー経験者には、四国八十八カ所の住職の方々がおられると小船井さんからも教えてもらい、驚きました。ロータリーとお遍路の縁はまだございまして、歩く途中、近くのロータリーの例会があれば、ちょうど時間が合った時にはメイクアップをして新しい出会いもありました。

また、タイでのグローバル・グランドの補助金事業やマッチング・グランドの事業等で出会った四国の香川県・徳島県のロータリーメンバーとはお遍路のたびに

再会を重ねております。この友人は、本年度の目標でもある友好姉妹クラブ探しの強力な助っ人にもなっております。個人的には四国のクラブも良いと考えております。

当初、思いも寄らなかったロータリーとお遍路の縁を活かしてなにか形にできたら素晴らしいと思う今日このごろです。

これは亡くなった女房が残してくれた最後の置き土産だと思って感謝しております。(合掌)
これで、会長の時間を終わります。

新入会員紹介

スポンサー 天方 智順君



皆さま、こんに
ちは。廣部雅資さん
をご紹介します。
廣部さんは、
転出された清水寧
会員の後、日本生
命道東支社支社長

で赴任されております。スポンサーは私と白幡さんです。ゴルフはされるということなので、当クラブは「なゆたの会」というゴルフ同好会がございますので、ぜひともご入会いただけたと思います。麻雀はされないということです。趣味は「釣りにチャレンジ」。当クラブは非公式ながら漁業部がありますので、船釣りな

どご興味があればよろしくお願ひしたいと思います。ご家族は奥様と2人の娘様ということで、単身赴任です。特記事項ですが、「ファイターズの一員として日の丸を背負いました」。何のことかと思っているかもしれません。こういう会員が来ることを私はすごく楽しみにしていました。関西学院大学ファイターズ・アメリカンフットボール部在籍時に、ワールドカップに日本代表として出場されております。なかなかそういう方はいらっしゃらないと思います。本当に嬉しく思います。それでは、廣部さんから一言、よろしくお願ひいたします。

日本生命保険相互会社

道東支社 廣部 雅資支社長



ただいまご紹介いただきました日本生命の廣部と申します。前任地は札幌で担当支社長をやっていました。この度、釧路・道東支社で支

社長ということで赴任してまいりました。いまほど過分なご紹介をいただいたのですが、大学時代は、少し前に話題になりました『殺人タックル』で有名な「赤い方」にやられた「青い学校」の関西学院大学でアメリカンフットボールをしておりまして、また、日本生命に入社した次第です。

今回は、伝統と格式高い、そして最大規模、84年の歴史がある釧路ロータリーに入会させていただきまして、地域貢献並びにこの釧路の街を私の範囲でしっかり盛り上げて行ければと思っております。そして日頃は、担当職員並びに営業部長が皆さま方には本当にお世話になっているかと思っておりますので、そういった本業のところでも社会貢献ができればと思っております。このロータリーを楽しみにしておりますので、引き続きこれからもどうぞよろしくお願ひいたします。

スポンサー 五明 正吉君



こんにちは。本日入会される新入会員のご紹介をさせていただきます。お名前は吉岡央さん。NTTドコモ釧路支店の支社長で、前任の石鍋支店長の後任でございます。東京から釧路に赴任をいたしました。「コロナは持っていない」ということで安心をしてお付き合いのほどをお願い申し上げます。

お酒の方は、「皆さんといつまでもお付き合いできる」ということですので、ぜひ末広へ出ていただいて楽しい夜を過ごしていただきたいと思ひます。

本人は、昭和48年9月26日生まれで、もう少しで47歳、今現在は46歳です。もう1人のスポンサーは白幡博君です。

皆さんご存じのとおり柴田君や山下君が続けて支店長で来られたりして、その山下望前支店長からも「ぜひよろしく頼む、皆さんにお伝えして」ということです。

私もドコモのファンでして、昔はちょっと良い時代がありました。携帯電話の新しい機種がタダの時代がありました。その都度、支店長にお世話になって、今持っている電話は28台目ですから、今はだいたい大人になって最近は変えることはなくなりました。

吉岡君、これからまた何年か皆さんと一緒に付き合っていくと思ひますけれども、楽しいロータリーライフが送られるようご協力のほどをよろしくお願ひ申し上げます。それでは、吉岡君から一言お願ひします。

株式会社NTTドコモ北海道

釧路支店 吉岡 央支店長



ただいま、ご紹介いただきましたNTTドコモの吉岡と申します。よろしくお願ひいたします。

この度は、歴史と伝統のある釧路ロータリークラブに入会させていただく機会をいただきまして誠にありがとうございます。先ほど五明さんよりご紹介いただいたとおり私、以前の職場は東京だったのですが、元々北海道の出身でして、生まれは函館になります。実家も今まだ函館の方にあります。東京と北海道を仕事上行ったり来たりしているのですが、どこで働いていても北海道のためにという思いで働いておりました。この度、釧路で仕事をさせていただく機会をいただきましたので、釧路のため、そして釧路ロータリークラブのために少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思っておりますのでなにとぞよろしくお願ひいたします。

見てのとおり若輩ものですが、一生懸命頑張りたいと思ひますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

スポンサー 吉田 秀俊君



皆さん、こんにちは。新入会員の竹村康治さんをご紹介いたします。職業は北海道新聞釧路支社の支社長

ということで、前任の菅原支社長の後任として赴任しております。

若いころは、新聞記者として道内各地を転勤されましたけれど、釧路でお仕事をされるのは今回が初めてだと聞いております。記者職を退いてからは、長い間、編集の仕事に携わっておりましたけれど直近は、道新の電子版でお馴染みの電子メディア局の局次長を終えられた後、6月に支社長として赴任されております。

旭川の出身でして、お生まれが昭和35年10月15日で、前のお二人とは少し年齢差がありますが今年めでたく還暦を迎えられます。ご家族は奥様だけ、お子様はいらっしゃいません。奥様は札幌のご実家を守られているということで、竹村さんも単身で釧路にいらしてしております。趣味は山歩きと温泉巡りで、私とは趣の違った健全・健康な趣味をお持ちであります。

また、当クラブの甲賀君が大学の後輩で、大学時代一緒にアイスホッケーをやられたということで、体力には自信があるのではないかと考えております。ただ今日、甲賀君と会うのは大学以来だと聞いておりますので、ヘアスタイルの大きな変化に長い年月の流れを感じるのではないかと考えております。

残念ながらゴルフや麻雀はされませんが、お酒の方は「いける口」と聞いておりますので、ぜひ機会がありましたらお付き合いさせていただきまして、例会やいろいろな事業を通じて1日も早く釧路クラブの一員として馴染んでいただきますよう皆さまにお引き回しをお願いして私からの紹介とさせていただきます。

よろしくお願ひいたします。

株式会社北海道新聞社

釧路支社 竹村 康治支社長

ただいま、ご紹介いただきました北海道新聞社の竹村と申します。この度は、歴史と伝統ある釧路ロータリークラブのお仲間に加えていただきまして誠にありがとうございます。



ご紹介にありましたけれど、私が釧路へ来て一番びっくりしたことは、先ほど甲賀さんと30数年ぶりに対面して、お互いの頭を見て驚愕しました。彼とは、大学時代以来の再会だったのですが、釧路へ来て私も久しぶりに生のアイスホッケーの試合が見られるかと思ひ、それも楽しみにしております。

私、先ほどご紹介にありましたように道内勤務がもっぱらでございます。結構小さな街も勤務しています。ここから近い所では十勝管内の広尾町にウチの支局があるので20年ぐらい前にいました。あの時はま

だサケ・マスの流し網があってトキシラズがどんどん獲れていた時で、ここに来て釧路を見て懐かしく思いました。今はニセコと言っていますけれど倶知安支局にもいました。どんどん外資が入ってくることで、なにか怪しげなブローカーと随分お付き合いをさせていただきまして。そのうちにリーマンショックになり、全部お金が飛んで行きましたけれど。そういう現場も見させてもらいました。

釧路は、初めてです。釧路へ来て一番快適なことは、私は暑さが苦手で、この7月に長袖が着られることが凄く幸せです。なかなか良い気候ですごく楽しめそうな気がしております。

今年は、ご存じのようにコロナでいろいろなイベントが中止になって、ここの「どんぱく」も、花火大会も中止で非常に残念ですが、少しずつ前に進んで行けるよう私も仕事を通じてお手伝いをさせていただきたいと思ひます。

皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

会長より新入会員へ歓迎の言葉 舟木 博会長

新入会員の皆さま、ようこそいらっしゃいました。前日も申しましたが、この大変な時期に当クラブに入会をさせていただき大変ありがとうございます。

先週は『ガバナー公式訪問』例会の中、織田君・田内君・山田君の3名の新入会員が入会され、今週は、廣部君・吉岡君・竹村君の3名に入会していただきました。前回は、田の字が共通で名前を覚えましたが、今回は、入会順で96番・97番・98番という

ことで9・6・7・8年・岡・部・村と下の漢字で名前を全部覚えられました。3名の趣味は釣り・ゴルフ・山歩き・温泉巡りとお聞きしましたが、ご安心ください。釧路の地は全てを完備しております。ぜひ釧路に在る間に趣味を堪能してください。

新入会員の皆さまには、まず例会に数多く出席をしていただきたいと思います。釧路クラブのメンバーは皆さんを心より歓迎いたします。これから数年間、釧路生活を当クラブのメンバーと親しくなって、心ゆくまで楽しんでください。

尚、委員会配属は、廣部君と竹村君は親睦活動委員会です。佐藤委員長、よろしくお願ひいたします。吉岡君はクラブ広報・雑誌委員会です。水口委員長、どうぞよろしくお願ひいたします。

短い挨拶ですが、歓迎の挨拶とさせていただきます。

転勤挨拶

NHK釧路放送局 武久 晋治君

皆さん、こんにちは。いろいろとお世話になりありがとうございます。本日3人の方が新たに入会されたのを見て、わずか1年前、私も同様に歓迎していただき、いろいろ教えていただき、なによりも一緒に

笑ったり楽しんだりすることができたことをしみじみ述懐しております。これから私は早期退職をいたしまして、関連団体の「日本放送協会共済会」という会社に入りまして、そこで内部監査の仕事をするようになりました。



例えば、ロータリーの方々は皆さん気さくで優しく接していただき、私も北海道は初体験だったのですけれども、観光名所や風光明媚の場所を教えてくださいたり、末広の名店をご紹介いただいたり、本当に釧路ライフを満喫するためにいろいろご指導いただきました。新しく入った方々に言うことがあるとすれば、「先輩の胸の中でまどろみなさい」みたいな感じだと思います。ご心配なく、非常に楽しく良いクラブだと思います。私の一番記憶に残っていることは、昨年、当時の吉田ガバナーをお支えして地区大会をした時に、私はかなり頑張って牡蠣を焼かせていただきました。焼いても、焼いても牡蠣があるので、これはいつまでやるのだろうと思ったのですが、ちょうどその時、台風が来ていて、牡蠣を焼き終わるころには台風対応で局に帰らなければいけなくて、最後は一緒にできなかったことが心残りですけれども、おかげさまで牡蠣を焼く技術はあの1日でかなり向上したのではないかと考えております。その時にいただいた和商市場の前かけ、あれが一番の釧路の宝物になっております。これから東京に帰りますけれども、私には子どもが1人おりますけれども大阪に行っていて、家内と2人きりの暮らしになります。前かけを付けてしっかり家事にいそみたいと考えております。

これから、暑くて快適ではない東京に戻ります。ご承知のようにコロナもかなりヤバイ状況になってきております。ウイルスはもちろん持ち込みませんが、機会を見つけて釧路に戻って大好きなゴルフや観光ができればと思っております。その節には、またお声がけさせていただきますので、元会員として温かくお迎えいただければと思います。

今日は、どうもありがとうございました。

■本日のプログラム■

「セピア写真から語る釧路の今昔物語」

プログラム委員会 中島 徳政委員長

中島でございます。1年間、よろしくお願いたします。本日の講師をご紹介させていただきます。本日の講師は、市内米町で大道さんの定光寺さんの下の方で、『(有)丸喜冠葬』の代表取締役会長をされています。また、釧路市遺族会の会長として護国神社で英

霊の御霊をお祭りしていらっしゃる方ですし、先ほどご紹介にありました「釧路市社会福祉協議会」の会長をされています。この前会長はパストガバナーの清水様です。そのような奉仕の活動を釧路でされている方でございます。

今日は、『セピア写真で語る釧路今昔物語』と題しまして、短い時間ではございますけれども土井様のお話を聞いていただき、土井様にはご飯を食べながらという非常に失礼な状況になっていると思いますけれどももよろしくお願したいと思っております。

それでは、土井様お願いたします。

釧路市社会福祉協議会 土井 英昭会長



皆さま、こんにちは。ただいまご紹介をいただきました釧路市社会福祉協議会の土井英昭です。今日は、釧路ロータリークラブの例会に

私のような者をご指名をいただきました。果たしてどんな話をすれば良いのか非常に心配をして1週間ぐらい悩みながら資料整理をさせていただいたわけでございます。

実は、会長に就任されました舟木博会長には、50年来同業者としてご厚誼をいただきました。また要職のプログラム委員長の中島さんは商売の関係でお世話になって、そういうことからお断りすることができないで本日やってまいりました。

今日は釧路を代表する、釧路を支えていると言っても過言ではない会員の皆さまばかりであります。本当に私ごとき者が皆さんの前で話をすることはいかがなものかと緊張をしてやってまいりました。

私の大先輩で尊敬する清水先生、今日は元気にされていて先ほどお会いしました。私も80歳近くなりました。年をとって「物を忘れてどうにもならん」という話ばかりします。清水先生の元気な姿を見たらそんなこと言っていない。もう1回一生懸命頑張らなければいけない、とそんな思いをして本日この壇上に立たせていただいています。

今日は時間が限られておりますので早速お話をさせていただきます。

今日のお話は、『セピア写真で語る釧路の今昔物語』。先ほど中島君に紹介いただきました米町3丁目定光寺の真向かいで爺さんの時代から100年以上住み続けていて、私は3代目ですけれども、そういう関係で「釧路発祥の地の米町の話をしてくれないか」というご要望をいただきました。

この橋南地区はまさに釧路の発祥の地であります。この地域がどんどん街の形態が変わって、北大通になっ

ていくわけでありませう。北大通は当時「西幣舞」と言っていた街です。そして、駅ができると同時に駅裏の方がどんどん開かれて街の形態が変わっていくわけです。その米町に私が住んでおりました。

本当に古い人がどんどんいなくなりました。語り継いでいかなければいけないが、なかなか語り継ぐ人がいなくなって、私の世代 80 代がその当時の米町に住んでいる長老から話を聞いたものを思い出しながら今日は話をさせていただきたいと思ひます。

釧路の始まりは、江戸時代。釧路は「クスリ」と呼ばれていた時代であります。寛永 20 年頃、これも定かではありませんけれども現在の南大通 8 丁目にあるあの『佐野』のあたりで松前藩がアイヌ人との物々交換をしていた。そこは商売の商い場としてできていたのです。先住民族であるアイヌの人たちと、お魚と生活物資を物々交換する商い場としてまずできたのであります。これは明治 3 年頃に松前藩から役人が来てまず釧路出張所として始まったという話になっていませう。その後は皆さんご案内のとおり、二代目の佐野孫右衛門という豪商がその後を引き継いでいたのです。なぜあそこにそういうものができたかといひますと、当時の原住民であるアイヌの人たちを目指してロシアの人たちがこの北海道の地を自分たちの領土としたいという動きがありまして、日本の松前藩があわててこれを長出張所を開設したという話になっているわけでありませう。

その後、この場所で佐野孫右衛門さんがいろいろと活躍をされ、当時はやはり釧路の第一次産業である漁業が盛んでした。お魚がとても捕れて、生活の中心は漁業で、その漁業の人たちの船の安全を守るために、釧路の皆さんを守るために安芸の宮島から『巖島神社』を分園としてこちらにお招きをして、皆さんご存じの方があられるかもしれません、あの料亭『八浪』さんに小さいお社みたいのを建てたのが始まり。それで、二代目佐野孫右衛門さんが「これではどうにもならん」といひますと、現在の高台に巖島神社を立ち上げたのです。まさに釧路の守り神として、あの高い所に広島県安芸の宮島からの分園として建てられたのが釧路市の歴史の始まりと言われているわけでありませう。

次に、このスライドを見ていただきます。これは明治 20 年頃の写真です。下に出ているのは米町の下の人（しりと）、弁天ヶ浜あたりの図で、当時は風が強くて、まさぶき屋根が飛んでしまうので、石を並べて屋根が飛ばないようにした写真だそうでありませう。その上にあるものは、それからしばらく経って街並みもきれいになり、石も上がっておりませう。しっかりとした建物になっています。これはいまの入舟町辺りの写真と言われているものです。

次のスライドお願いします。これは、一番初めの幣舞橋でして、初めは『愛北橋』と言われていました。

これは明治 22 年に当時釧路で酒造りや米穀商として大きな商売をされた「愛北物産釧路出張所」が当時の軍の軍長の薦めで、私財を投げ打って釧路川に最初の橋を建てたのがこの橋です。これは写真ではありません。当時の誰が描いたのか不明ですけれどもこういう木製の橋でありませう。

釧路川で最初の橋で、長さが 218m、幅が 3.6m。工費は当時のお金で 2,500 円で、『有料の木橋』でした。いまの北大通側とロータリーの所に料金所があつて、そこでお金を払って橋を渡っていた。それまでは橋がありませんから全部船で渡っていたという文献です。この橋ができてから、218m の木の橋として北海道でも一番長い橋として大変な注目をされていませう。この橋ができて一気に南から今の北大通の方に開発が開けていくわけでありませう。その時に、南大通の方はどうなっていたかといひますと、真砂町と洲崎町 2 つの町しかなかった。今の入舟町、大町はずっと海岸線で砂だった。それを埋め立てて、今の入舟町、大町ができた。そして南大通の表にはたくさんの商社がどんどん立ち並んでいくことになるわけでありませう。

次の写真をお願いします。これは 2 番目の、ここで初めて『幣舞橋』ができるわけでありませうけれども、この橋も木造でしたけれども橋桁をしっかりとしたものにしています。初めの橋が木造で非常に弱いものですから、氷が溶けると橋桁にどんどん当たって、その都度「通行止めになってどうにもならん」といひますと、14・5 年経った後に今度は豪雪で当時の釧路町がお金を出して建てた 2 番目の橋です。

この当時のこの写真を見ますと、手前の方が皆さんの関連している産業会館のあたりからビルがあつて、向こう側が北大通です。これも非常に古い写真でありませう。

ここから私の本当の話になります。米町には、2 つの神社、1 つが巖島神社、もう 1 つが護国神社、この 2 つの神社。そしてお寺が 7 カ住、釧路のほとんどの宗派のお寺が全て米町・弥生町界隈に 7 つ。2 つの神社と 7 つのお寺がありますけれども、どのお寺も本当に素晴らしい本山を揺るがすくらいの立派なお寺になっています。

当時はこのようにカヤブキ、一番歴史が古いのは弥生町 2 丁目にある聞名寺さんです。これは明治 8 年に佐野孫右衛門さんによって現在の所に誘致をされ、説教所として設けられていませう。明治の初代の住職は永福法随という住職が京都からみえていて、法名は藤法随であったそうでありませう、非常にレベルの高い人、寺子屋を釧路に初めて作って、これが後の日進小学校になって



いくという歴史であります。その間、この聞名寺は明治38年に火災で全焼してしまい、その後の大正時代の東本願寺派の大谷派として現存されている立派なお寺であります。

次に、これが皆さんもよく分かっている米町3丁目にある曹洞宗の定光寺さん。曹洞宗のまさに北海道の総本山ともいえるべき定光寺。大道光肇がいま住職として活躍をされていることは皆さんにご案内のとおりであり、先代の住職は横浜の本山の管主を7年間務めて釧路へ帰ってまいりまして、3年前、お亡くなりになりました。今はその息子さんが住職としてしっかりと継いでおられます。この曹洞宗の本山は石川県の能登にあった永平寺。これが火事で焼失してしまいます。その後、福井県の方に行き、そして東京以北は、定光寺の住職が貫首として行っておりました横浜の總持寺です。非常に由緒があり、いまも曹洞宗では北海道一、そして檀家数も6,000人を数えるという大きなお寺さんです。いま現在、見習いの僧や修行をしている人を含めて20名を超えるお坊さんが修行をしているというお寺でございます。

次、これは釧路の民衆駅。その前の駅は幸町、今の幸町公園に駅がありました。そこは浜釧路駅として繋がっていたのですが、これは今の駅の前身、民衆駅として今の位置・北大通14丁目にあります。あの駅が民衆駅として誕生した時の状況がこれに写っています。これで南からどんどん北大通、それこそ西幣舞の方にどんどん開けて行く街づくりの変遷であります。

次をお願いします。これからお話をする米町の料理屋ですけれども、有名な料理屋で『喜望楼』。これは後ほど出て来ますけれども、石川啄木がここによく通っていた。古い人なら知っている人もおられると思



います。南大通8丁目の竹富稲荷から「八浪」さんの方に上がって行く、車が通れない通り。あの上に「喜望楼」や「鹿島屋」など5軒の料理屋さんが並んでいて、そして夕方5時を過ぎると三味線の音がいつも聞こえていた場所の一番中心でありました「喜望楼」の写真を載せさせていただきました。

次に、これは私が昨日、啄木のことを教えてもらいたくて、啄木の記念館に行って聞きましたらこの写真、金田一京助と啄木の彼女と言われて有名な小奴こと近江ジンの2人が釧路新聞社の前で撮った写真です。88年前の写真だそうです。

これは今のどこかと言ったら、今の水道局の1本後に昭和シェルの石油スタンドがあります。あそこに釧路

新聞社があった時の写真でございます。向かいが今の水道局で、その一丁こちら側で、いま『啄木ゆめ公園』になっている所に南大通の交番派出所がありました。その横に皆さん名前は聞いたことあるでしょう、『両角商店』です。丸三鶴屋の先々代が呉服屋を大きく開いていた。その向かいが『岩堀薬局』ですから、皆さんと同じロータリーの会員でおられたあの有名な岩堀さん、あの岩堀さんの先代があそこで店を開いたという由緒のある所でありました。

皆さん、昭和7年の写真です。これが当時の米町から宮本町、日進小学校のあたり。下の南大通り、入舟界隈の昭和7年の写真です。この前の写真もありますけれども、写真ではなく手書きですから正確なものではないということで、この写真。これは本当に小さくてよく見えませんが、今でも現存している南大通の『成田餅屋』さんなどが昭和7年、88年前の写真に載っております。ですから皆さんの知っている人も載っているかもしれません。これは拡大していただくと大きいものもありますので、もしご希望があったらプログラム委員長にお願いをして作っていただければいいかと思います。

この写真から言いますと、いま『啄木ゆめ公園』になっている所の向かいが当時の郵便局の本局だったので。その後、『かさい病院』という釧路でも一番大きな病院があったのです。第三小学校、後の東栄小学校です。上の方にちよこっと出ている第一小学校が日進小学校です。

次は、いよいよ私の本番であります『遊郭』のお話をしたいと思えます。遊郭の歴史は明治4年に久本種右衛門という人が女性3人を連れて釧路にやっ来てまいりまして。そして木造3階建ての遊郭『種ヶ島』を造ります。これは『種ヶ島』ではありません。これは『たしましろう』です。『種ヶ島』はこの先にある木造の3階建てで、米町2丁目、現在の明照幼稚園の道路側に建てられて、そこで初めて遊郭が開設するわけでありまして。その回りに米町3丁目まであつという間に12軒ばかり遊郭ができるのです。その後、米町の火災で『種ヶ島』から火災を出し、それで遊郭が全部焼けました。それで焼けた後どこへ行くかといったら今の浪花町（トンケシ）と城山（モシリヤ）の方に遊郭は分散をして進出するのですけれどもなかなか繁盛しないのです。やっぱり米町でなければ繁盛しない。なぜかと私もいろいろ文献などを調べたら、やっぱり漁船が着く波止場入り口。南大通の8丁目から回ってカーブで行った突き当たりに小さな波止場があって、そこが唯一の渡船場でした。そして漁師の船もあそこから釧路川に沿ってビッチリ船が付いています。漁師の人は一生懸命働いて、上がってきたらまず神社仏閣をお参りして、そして門前町の米町の遊郭へ上がって遊んでいたそうでございます。

その当時、行った人はいないかもしれません。もうみんななくなりました。私はちょうど子どもの頃で、まだ遊郭がありました。昭和32年に、遊郭は日本のまさに女性の人権を無視した法律として売春禁止法で改正をされます。そして33年までの1年間猶予期間で遊郭で働いていた皆さんはそれぞれが道を求めて行くのですけれども、その頃末広町が盛んになってきて、キャバレーやクラブで若い人は働いて、歳をとった人たちは炉端を開設したりしました。また遊郭の人は東北の人が中心で、遊郭のお姉さん方は生活が大変で、みんな家族を救うために、家族を養うために働いていた。それが現実でありました。これは遊郭の『武蔵楼』です。

その中で、復活をしてまた遊郭に戻って来るのですけれども、今度は当時の釧路町が風紀上1つの所にしっかりまとめる政策の下でどうなったかと言いますと、その頃全く湿地帯で家もなにも建っていない米町4丁目を埋め立てて遊郭街を造っていくという政策でありました。あの狭い所に18軒の遊郭が一気にできていくわけでありました。それに付随して3丁目・2丁目にも遊郭があって、最盛期には32軒あったと言われています。そのうちの公娼・国が認可した郭（くるわ）は19軒。それ以外に10数軒が許可を持たない遊郭があったと、文献にもきちんと載っております。いま出ている人は遊郭のお姉さん方です。

この遊郭のお姉さん方には、2種類あって1つは三味線などの芸を一生懸命に売っている芸者さん、そして芸を売らない女性の性を売るお姉さん、この2つがあったように私の記憶には、そして私が古い郭をやっていた人に聞いた話の中にありました。

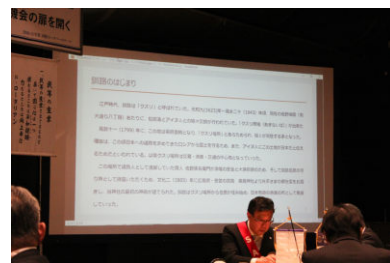
それで、昭和33年にこれを全部解散した後にどうなったか。郭は全部が下宿屋や旅館になります。そして働いていた人は故郷の東北へ帰った人もいます。釧路市で結婚をした人もいます。そしてきちんと子どもを2人も3人も育てて幸せな生活を送った人もいます。さまざまな道に行くわけでありましてけれども、釧路の場合は悲惨な人は割合少なかったと私は聞いています。どこよりもこの釧路の遊郭が違う点はなにか。これは、釧路の遊郭の経営者が全部堅気の人だった。本州は全部がテキヤさんか何かの人が経営をしていて、ですからすごく悲惨な状態が本州の方にはあった。北海道では釧路だけが郭の経営者は全部が堅気の人、ですから郭のお姉さんにも賃金をきちんと払って、そして組合もしっかり。料理屋組合、郭組合として組合を運営されている。何よりすごいと思ったことは、あの米町4丁目の狭い所に、遊郭をやっている4人もの市議会議員が出て、そして釧路市の街づくりをしっかり担っていた。南大通も含めて全部で11人の市議会議員がいる。本当に釧路市の原点を作ってきたような先輩たちだと私はそう思います。

私の知っている遊郭の経営者も本当に人格の素晴らしい人で、私もいつも尊敬をしている人が、米町から市議会議員さん4人の方が出ておりました。私もいろいろなことを教えていただきました。子どもの頃から「こう生きるのだ」「こうやるのだよ」とそういう教育を受けてきたことが本当に思い出されてなりません。

これは巖島神社の天皇陛下の行幸の話であります。大正11年に初めに天皇陛下がお出でになった時。大正天皇のことは皆さん覚えている方もおられるかどうか知りませんが、体の弱い天皇陛下で、昭和天皇が名代で釧路へ行幸に見えて、この人力車で幣舞橋を渡って巖島神社まで行くわけです。砂利道の中を行っただという話であります。

これは昭和11年に2回目の天皇陛下がお出でになって、そして大歓迎をして当時の佐藤国司市長が先導役を務めて、入ってまいったところです。一番後にいるのが巖島神社の曾爺ちゃん。赤い印を付けていただいております。

その後ろにお立ち台を作って、お立ち台から釧路市の街を見て、阿寒の山々がきれいに連なっているのを見て、「素晴らしい所だ」と。



いまの天皇陛下が皇太子の時に感激をして帰った時の写真でございます。ですからこの巖島神社は釧路の守り神であり代えがない、そして安芸の宮島から分霊をいただいてつくった一之宮であります。北海道においても非常にレベルの高い神社です。いまの神職も権禰宜（ごんねぎ）も一生懸命に頑張っておられます。何と申しましても釧路の全ての歴史を知っているのがこの巖島神社であります。

そこで私のまだ担当をしている護国神社の話をさせていただきます。参道を上がって右側に護国神社があります。そこには、釧路市と釧路管内7カ町村の兵隊さんで行って殉職された人3,337名の柱をお祀りしている所があります。そこで毎月第3日曜日にその月に亡くなった英霊をしっかりと慰めをして玉串を捧げています。これは全国で釧路市だけだそうで、本当に高い評価をされています。「戦争で犠牲になった人をしっかりお守りをして行かなければ街は絶対栄えない」が私の持論でありますけれども、いまその役割を担っているところであります。

そこで私のまだ担当をしている護国神社の話をさせていただきます。参道を上がって右側に護国神社があります。そこには、釧路市と釧路管内7カ町村の兵隊さんで行って殉職された人3,337名の柱をお祀りしている所があります。そこで毎月第3日曜日にその月に亡くなった英霊をしっかりと慰めをして玉串を捧げています。これは全国で釧路市だけだそうで、本当に高い評価をされています。「戦争で犠牲になった人をしっかりお守りをして行かなければ街は絶対栄えない」が私の持論でありますけれども、いまその役割を担っているところであります。

時間が過ぎましたね。皆さんは忙しく貴重な時間の人ばかりでございます。釧路を代表する皆さん、釧路を支えている会員の皆さんばかりだと私は思います。この私たちの故郷釧路のために、釧路を支える役目として釧路ロータリークラブの皆さんのご健闘を心から

ご期待を申し上げ、簡単措辞でございますけれども私の拙い挨拶を兼ねての講演とさせていただきます。

また、今日は久しぶりに知っている人にお会いできて、私ども社会福祉協議会の大先輩の尊敬をする清水先生がお見えでございます。

このコロナで社会福祉協議会も大変でございます。緊急資金の受付窓口行っていて、昨日現在の話では678人の申請があって1億円を超えたと承っています。私どもは少しでも頑張っていきたいと思えます。皆さんの益々のご健闘をを心からご期待を申し上げまして終わりにさせていただきます。ありがとうございました。

会長謝辞

土井会長さんにおかれましては、釧路発祥の地・米町の地理、そして歴史を詳しく説明していただき大変ありがとうございました。

最近、若い地元の人々が、「元町青年団」を作って地域活性化に務めている米町を改めて見つめ直すことができました。

土井会長は若い時からの体型が全く変わらず、雄弁なところも全く変わっておりません。多方面で活躍されている姿を見ると頼もしいものです。現在79歳とお聞きしておりますが、ぜひ頑張って100歳までご活躍されることを願っております。

本日は、どうもありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 武久 晋治君 短い間でしたが、お世話になりました。
- 中島 徳政君 今年度、初担当例会です。一年間よろしくお願い致します。

今年度累計 63,000円